

No.7 借受農地管理等事業活用事例



遊休農地の利用権得取による JA筑前あさくらファーム事業

○取組の概要

JA筑前あさくらは、平成29年7月の九州北部豪雨で被災した農家の経営再開を支援するため、令和元年度からJAファーム事業によるアスパラガス栽培を開始。

栽培用地については、当機構が遊休農地の中間管理権を取得、保全管理(除草・耕起)を行い、JAに転貸。

同JAは初期投資や未収穫期間のコストを負担し、経営が安定する3年目に被災農家への経営移譲を行う予定。

遊休農地



保全管理



JAファーム事業



取組の経過

○平成30年度

・JAファーム事業の取組みについて関係機関による打合せ

○令和元年度

・朝倉市杷木久喜宮地区の遊休農地4筆・40aの中間管理権を取得
・機構による保全管理(除草・耕起)を実施
・JAへ転貸(貸借期間10年)、2月ハウス建設

経営の概要

・名称 久喜宮ドリームファーム
・場所 朝倉市杷木久喜宮
・面積 ビニルハウス10棟、27a
・管理 R2.3 苗定植。経営移譲までの間、JAから委託を受けた被災農家が管理作業実施

今後の予定

・令和2年度、新たに朝倉市山田地区及び同久喜宮地区で同様の取組を実施予定